

〒805-0071 北九州市八幡東区東田二丁目4番1号
 Tel 681-1011 Fax 661-7503
<https://www.kmnh.jp/>
 発行 北九州市立いのちのたび博物館 ミュージアムティーチャー

いよいよ年度末となり、学校では卒業式に向けて、何かとあわただしい毎日をお過ごしのことと思います。今年度も感染症対策にご協力いただき、遠足や社会見学、体験学習などで多くの学校にご利用頂きました。新年度も博物館が、子どもたちの様々な好奇心を高める場となるよう、スタッフ一同、力を尽くしてまいります。

春の特別展「まるごとウマ展～ウマと人のキズナ」



「人馬一体」
 騎乗姿勢の骨格標本
 (世界初公開)



日本在来種木曾馬
 「さっちゃん」の剥製



原画「創世」
 (長瀬智之氏)



九曜紋螺鈿馬具一式 (江戸時代)



馬形埴輪
 (田川市石炭・歴史
 博物館所蔵)



ヒラコテリウム
 (馬の博物館所蔵)

【開催期間】令和4年3月19日(土)～5月8日(日)

人の生活や文化に大きな影響を与えたウマについて、その進化と多様化、人とのつながりを自然史の標本や歴史の資料を中心に紹介します。骨のつくりや剥製、馬術用馬具やウマが描かれた作品など幅広く展示し、ウマをまるごと楽しめる特別展です。

常設展のみ

	一 般	団 体
大人	600円	480円
高・大生	360円	280円
小・中生	240円	190円

特別展のみ

	一 般	団 体
大人	500円	400円
高・大生	300円	240円
小・中生	250円	190円

セット券(常設展+特別展)

	一 般	団 体
大人	1000円	880円
高・大生	600円	520円
小・中生	430円	380円

※ 団体は30名以上のお一人様料金です。※一般セット券は前売券があります。

＜令和4年度団体申込受付中！＞

●「令和4年4月1日～7月20日までの受付」

感染症対策として、団体受付の期間を区切り、感染状況に対応した取組を行なっています。令和4年度の夏休み前までの団体予約受付が3月1日(火)より始まります。博物館のホームページに申込書がありますので、所定の手続きでお申し込みください。多くの団体様のお越しをお待ちしております。

3月1日受付開始！



ミュージアムのタネ



鎌倉時代の北九州

今回は、北九州の歴史にふれるよ！

現在、NHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が放映されています。主人公は北条義時という人物です。北条氏は、代々執権の役職に就いて幕府の実権を握った一族ですが、北九州とはどのような関わりがあるのでしょうか。今回は、鎌倉時代の北九州について、北条氏との関係に注目してみたいと思います。

鎌倉時代の北九州と北条氏を見ていくうえでカギとなるのが、関門海峡と遠賀川です。

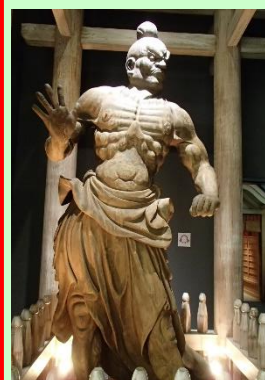
関門海峡は九州北部→瀬戸内海→畿内と向かう際に必ず通らなければならない地点です。ここには古くから「門司関」という関所が設置されていたので、北条氏はこれを直接支配することで、関門海峡を押さえました。

また、遠賀川はその流域の荘園からとれる年貢の輸送ルートでした。加えて、河口の芦屋は、当時「芦屋津」と呼ばれる港として栄えていました。北条氏は、現在の戸畑区・八幡東区・八幡西区・芦屋町などにまたがる「山鹿庄」という広大な荘園を支配して、遠賀川下流と河口の芦屋津を支配下に置きました。

当時、年貢などを運ぶ主な手段は船でしたので、川や河口の港、海峡などを押さえれば、行き来する船をすべて把握することができたのです。また、関所があればそこで通行税(関銭)を徴収することもできました。こうした理由から、北条氏は門司関＝関門海峡と山鹿庄＝遠賀川に着目したのです。

こうした地域には北条氏が直接赴くのではなく、家臣を派遣して現地の支配を任せていました。門司関には下総氏が、山鹿庄には宇都宮氏が派遣されました。下総氏はのちに門司氏と名乗り、宇都宮氏はのちに山鹿氏・麻生氏と名乗りました。彼らは、鎌倉幕府・北条氏の滅亡後も北九州の地に根付き、戦国時代末期まで支配を継続しました。

ときの権力者である北条氏が直接支配したという事実は、昔から交通・物流の要衝として重視されていた北九州の地理的特性をはっきりと表しているといえるでしょう。しかしこれだけではなく、その後の北九州の歴史を築き上げていく門司氏や麻生氏といった一族が北九州に根付くきっかけをつくった

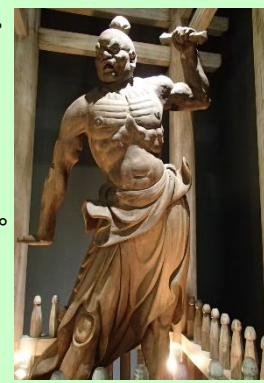


(坪形)

ということも、北条氏の北九州支配の意義として注目すべきポイントです。

このほかにも、小倉南区蒲生には大興善寺という寺院がありますが、これは執権北条時頼が家臣に命じて開いたとされています。現在も大興善寺には立派な金剛力士像があり、北九州と北条氏との関係をいまに伝えています。

歴史課学芸員 佐藤凌成



(阿形)

←← 大興善寺 金剛力士仁王像(複製 博物館所蔵) →→